

* 別表 「製品名等」の記載方法

1 製品名について

製品名は、放散等級別、基材別（複数の基材を複合する場合には、複合したものを単位とします。）、接着剤別、化粧材別となります。（登録番号は製品名ごととなります。）

2 基材名について

基材は、基材名を記入して下さい。また、同一製品で複数の基材を複合する場合には、複数の基材名を記入して下さい（たとえば、MDFと合板を複合する場合には、「MDF・合板」と記入して下さい。）。

3 接着剤名について

(1) 対象となる接着剤について

日本接着剤工業会の自主表示登録を受けた接着剤又は国土交通大臣認定を受けた接着剤若しくはJISの接着剤に限ります。

(2) 接着剤名について

接着剤名は、次の表によって接着剤の種類（「接着剤種」といいます。）により、その「略称」を記入して下さい。

なお、接着剤種の区分が分からない場合には、接着剤購入店にお尋ねの上、記入して下さい。

略 称	接 着 剤 種	記号	主 成 分 内 容
酢ビ系エマルジョン	酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形 (水性系接着剤)	W 1	酢酸ビニル樹脂を主成分としたエマルジョン形のもの
ビニル共重合樹脂	ビニル共重合樹脂系エマルジョン形 (水性系接着剤)	W 2	アクリル・酢酸ビニル共重合樹脂、エチレン・酢酸ビニル共重合樹脂を主成分としたエマルジョン形のもの
アクリル樹脂	アクリル樹脂系エマルジョン形 (水性系接着剤)	W 3	アクリル樹脂又はその共重合物を主成分としたエマルジョン形のもの
ゴム系ラテックス	ゴム系ラテックス形 (水性系接着剤)	W 4	天然ゴム又は合成ゴムを主成分としたエマルジョン形のもの
水性ビニルウレタン	水性高分子ーイソシアネート系 (水性系接着剤)	W 6	高分子の水溶液若しくは水性分散体又はそれらを組み合わせたものを主成分とする主剤と、イソシアネート系化合物を主成分とする架橋剤からなるもの
α-オレフィン	α-オレフィン樹脂形 (水性系接着剤)	W 7	α-オレフィン樹脂を主成分としたもの
エポキシ系	エポキシ樹脂系 (反応形接着剤)	R 1	エポキシ樹脂を主成分とした主剤と、ポリアミン類を主成分とした硬化剤との二液反応形のもの
ウレタン系	ウレタン樹脂系 (反応形接着剤)	R 2	ウレタン樹脂を主成分としたもの

略 称	接 着 剤 種	記号	主 成 分 内 容
シリル化ウレタン	シリル化ウレタン樹脂系 (反応形接着剤)	R 4	シリル化ウレタン樹脂を主成分としたもの
ホットメルト	ホットメルト形 (ホットメルト形接着剤)	H 1	加熱可塑性樹脂を主成分としたもの
酢ビ系溶剤形	酢酸ビニル樹脂系溶剤形 (溶剤形接着剤)	S 1	酢酸樹脂を主成分とした溶剤形のもの
ゴム系溶剤形	ゴム系溶剤形 (溶剤形接着剤)	S 2	天然ゴム又は合成ゴムを主成分とした溶剤形のもの

4 化粧材名について

化粧材別に、次により記入して下さい。

① 天然木ツキ板

JAS規格では、「天然木化粧単板」ですが、「天然木ツキ板」と記入して下さい。

② 人工ツキ板

人工ツキ板（人工柰、集成ツキ板（集成単板）を含む。）と記入して下さい。

この場合、人工ツキ板の表面を塗装した製品であることが必要です。ただし、非ホルムアルデヒド系接着剤を使用して製造した人工ツキ板にあっては、表面塗装の制約はありませんが、人工ツキ板の製造に使用した接着剤の製品安全データシート（以下「MSDS」といいます。）を添付して下さい。

③ 化粧紙

化粧紙名を記入して下さい。

④ 化粧印刷紙等

化粧印刷紙等の「名称」を記入して下さい。

5 塗料名について

塗料の種類を「略称」で記入して下さい。

たとえば、「二液性アクリルウレタン樹脂塗料」は、「アクリルウレタン」記入して下さい。また、「二液性ポリウレタン樹脂塗料」は、「ポリウレタン」と記入して下さい。

6 表示方法について

登録製品に、「表示マーク」を表示する箇所を、次により記入して下さい。

① 1枚又は1本ごとに表示する場合には、「各枚」と記入して下さい。

② 梱包に表示する場合には、「梱包」と表示して下さい。

③ 1枚又は1本ごとに表示するほか、梱包にも表示する場合には、「各枚・梱包」と記入して下さい。

7 製品の形状について

厚さ、幅及び長さを〇〇mm～〇〇mmと、寸法の最小と最大を範囲で記入して下さい。